

# STAR

## オフセットフレールモータ

### 取説・部品表

製品コード      43115  
型      式      FSSMC-160

- ・ 部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。
- ・ 補用部品の一部には、まとめ・セット販売のみの部品があります。

“必読”      機械の使用前には必ず読んでください。

---

## スター農機株式会社

# はじめに

このたびは、オフセットフレールモーアFS SMC-160をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本機は、弊社の豊富な経験と永年の研究成果として開発された機械です。

この機械の性能を十分発揮させ“安全で楽しい農作業”を行うために、この取扱説明書を熟読され、正しい取扱をしていただきますようお願い申し上げます。

尚、部品の注文をされる場合には必ず、本機のフレーム正面に貼ってあります本機銘板により、型式と製造番号を明示の上、部品表の番号で注文くださいますようお願い申し上げます。



印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。



その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになるものを示します。



その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告に従わなかった場合、けがを負う恐れのあるもの又は、製品の重大な破損をまねく恐れのあるものを示します。

この取扱説明書及び本機に貼ってあるステッカーは、補修部品として用意しています。  
紛失したり、汚れて読めなくなった時は、新しいものと取替えましょう。

# も く じ

## 取扱説明書

●各部の名称と掲載ページ	3
●安全について	
1.安全心得	3
2.仕業点検	4
●トラクタの取付け・取外し	
1.トラクタの点検	5
2.トラクタの取付け	5
3.P T Oジョイントの取付け	6
4.トラクタの取外し	6
5.P T Oジョイントの取扱い	7
●ご使用になる前に	
1.作動確認	8
2.トラクタのバランス	8
3.走行について	9
4.路肩、畦幅の作業について	9
●操作心得	10
●各部の調整と操作	
1.刈り高さの調整	11
2.Vベルトの調整	12
3.Vプーリーの取外し	12
4.カッターナイフの交換	13
5.タイヤ幅の調整	13
6.タイヤ固定の操作	14
7.フロントフラップの交換	14
●保守管理	
1.日常の保管	15
2.グリスの補給	15
3.長期保管	15
●仕様・諸元表	15
●結び	15

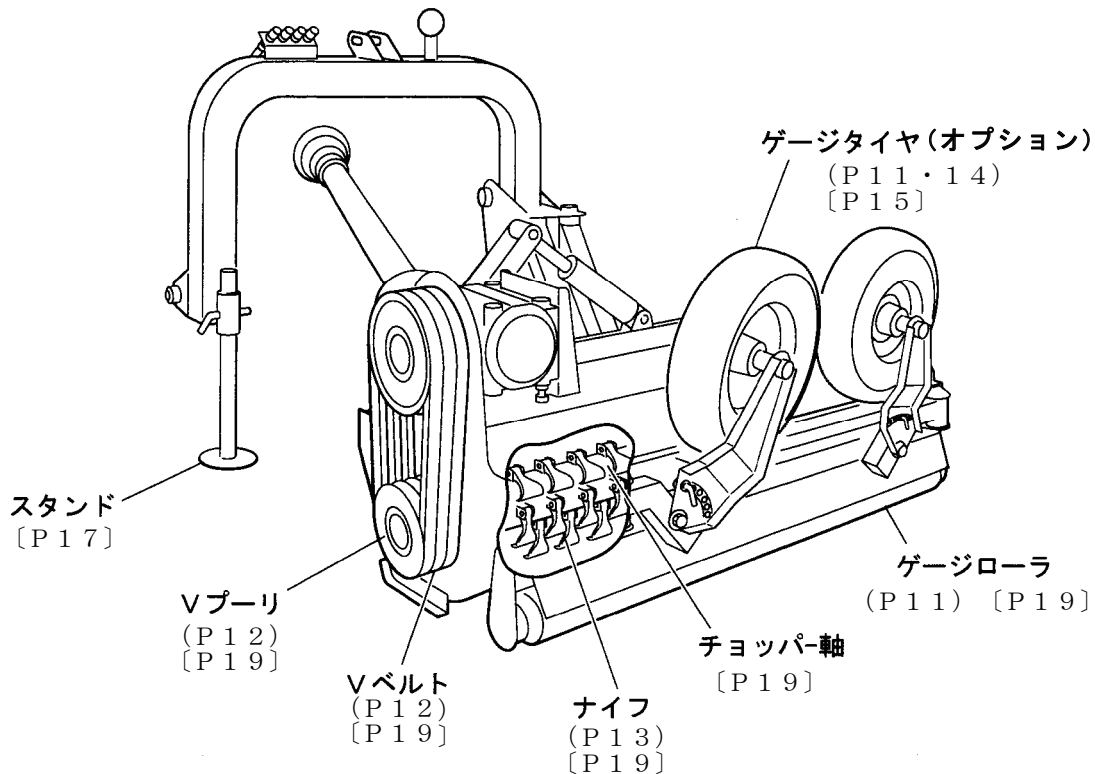
## 部 品 表

1.ヒッチ・アーム部	17
2.ロータ・ゲージ部	19

# 各部の名称と掲載ページ

( ) 取扱説明書掲載ページ

[ ] 部品表掲載ページ



070-0013-2031

## 安全について

### 1. 安全心得

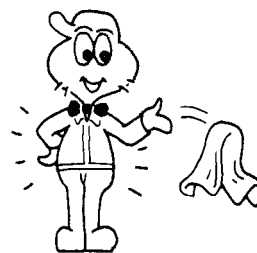
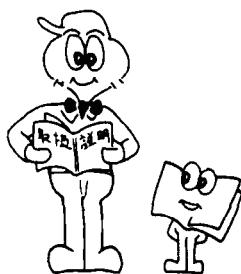
農作業の機械化が進むと共に、機械による事故も非常に多くなってきました。“安全で楽しい農作業”をするためにも次の注意事項を良く読んで常に安全に心掛けてください。



作業前に必ず取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用ください。



体に合った服装をし、手ぬぐい等は身につけないでください。



SA000071

SA000072

# 安全について



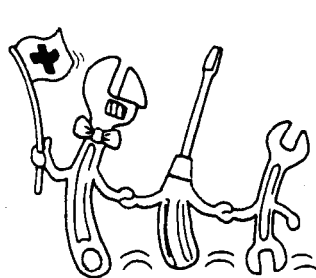
体調がすぐれない時や飲酒での作業はやめましょう。



仕業点検・整備は、安全作業の基本です。



SA000073



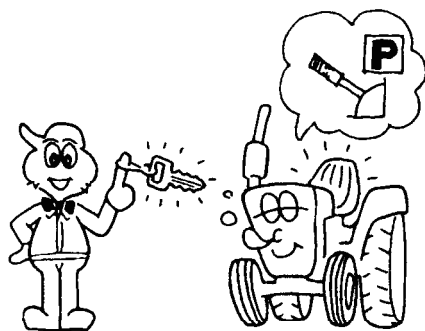
SA000074



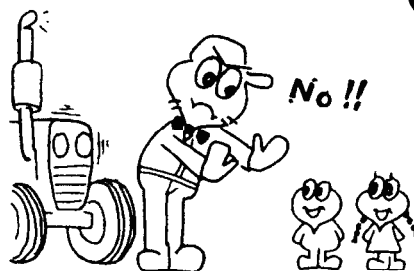
作業機から離れる場合は必ずトラクタのエンジンを止めサイドブレーキを掛けてください。



作業機以外の人、特に子供は近づけないでください。



SA000156



SA000157

## 2. 仕業点検

点検整備は安全作業の基本です。作業前に毎日必ずおこなってください。

### [点検箇所]

#### フレーム回り

- 1) 曲がり、亀裂、溶接のはがれのないこと。
- 2) 塗装の割れがないこと。(割れがあると強い力がかかった証拠です)
- 3) ボルト・ナットの緩み、脱落のないこと。

#### プーリー・ベルト部

- 1) ベルトの伸び、キズがないか点検すること。
- 2) Vプーリーの取付用セットスクリューに緩み、脱落のないこと。

#### ナイフ・ローター部

- 1) ナイフの脱落、割れのないこと。
- 2) 取付ボルト・ナットの緩みのないこと。
- 3) ローターに曲がり、亀裂、溶接のはがれのないこと。
- 4) ベアリングに異常のないこと。

#### カバー・ガード

- 1) 全て取付けて使用すること。

#### P.T.Oジョイント

- 1) 安全カバーを取付けて使用すること。
- 2) 回転防止チェーンを使用すること。

#### オイルの量

- 1) ミッション内のオイル量を確認すること。(約1.2ℓ)

# トラクタの取付け・取外し

## 1. トラクタの点検

本機に取付ける前に必ずトラクタの点検を行ってください。

### (1) トラクタの大きさ

本機を使用できるトラクタの大きさは、45～65kW(60～90PS)です。これ以下のトラクタでは使用してはいけません。

※45～65kW(60～90PS)トラクタでも機種によっては、フロントウェイトが必要です。

### (2) トラクタの作業点検

取付前にトラクタの取扱説明書を良く読み、作業点検を行ってください。

### (3) ロアリンクの点検

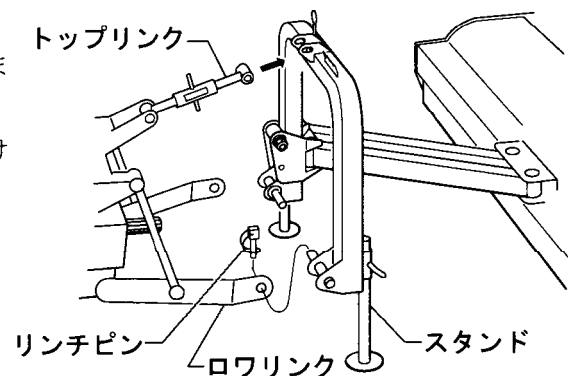
本機とトラクタの装着はロアリンクとトップリンクです。

ロアリンクは大リンク（Ⅱ型）専用です。

## 2. トラクタの取付け

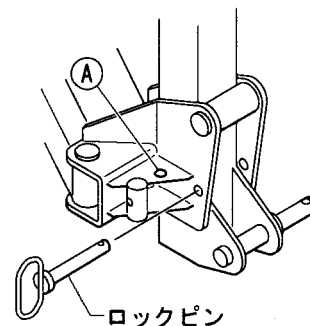
トラクタの取付けは〈図1-1〉を参考にしてください。

- (1) トラクタのロアリンクを本機取付け位置に合せながら静かにバックします。
- (2) トラクタのエンジンを止め、サイドブレーキを掛けます。
- (3) 本機のロアリンクピンに取付けし、リンチピンで抜け止めをしてください。
- (4) トップリンクを取付けます。  
(ピンは本機に付属していません。)
- (5) 本機を持ち上げ振れ止めを調整してください。
- (6) 油圧ホース4本（複動2系統）を取付けます。
- (7) スタンドを上げてください。
- (8) ロックピンを外し①に格納します。
- (9) P.T.Oジョイントをつないでください。
- (10) 本機がトラクタの中心に合っているか確認します。  
(振れ止めで調整)
- (11) ドローバーが垂直になっているか確認します。  
(トップリンクで調整)



〈図1-1〉

070-0013-2032



〈図1-2〉

070-0013-2033



作業中は必ずロックピンを外してください。

ロックピンを取付けたまま作業をすると、障害物があった時に本機が破損する恐れがあります。

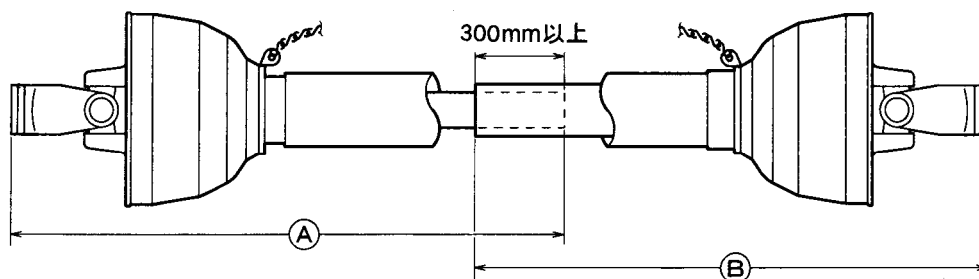
# トラクタの取付け・取外し

## 3. P.T.Oジョイントの取付け

本機装着後、トラクタの油圧昇降レバーで本機を上下し、トラクタのP.T.O軸と本機の入力軸との間の最小寸法、最大寸法を測定します。

その最小寸法でP.T.Oジョイントの底突がなく、最大寸法でオス、メスの重なり代が300mm以上になるようにジョイントの長さを調整してください。

レモンチューブを切りつめた時は、バリをヤスリ等で取り、グリスを塗布してください。



・標準品は①が 1340mm、②が 1340mm です。

<図2>

070-0013-2005



危険

安全カバー、回転防止チェーンは必ず使用してください。

破損しているものは新しいものと取替えてください。

カバー、回転防止チェーンを使用しなかったり、破損したまま使用すると、巻き込まれ死傷する危険があります。



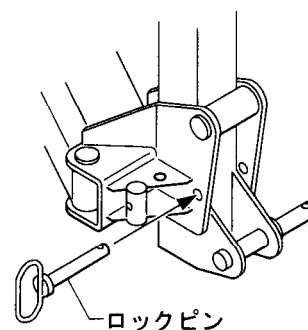
注意

◆ ロックピンが確実に作動したか確認してください。

◆ ジョイントが長すぎると、スプライン軸、又は入力部を破損することがあります。

## 4. トラクタの取外し

- (1) ロックピンを元の位置に戻してください。<図2-1>
- (2) スタンドを下げて本機を降ろします。
- (3) トラクタのエンジンを止め、サイドブレーキを掛けます。
- (4) P.T.Oジョイントをはずしてください。
- (5) 油圧ホースを外します。この時、油圧レバーを操作し圧力を抜いてください。
- (6) トップリンク、ロアリンクを外し静かに前進します。



<図2-1>

070-0013-2034



注意

トラクタから本機を降ろす場合は、平坦な地盤の良いところを選んで降ろしてください。



注意

ロックピンを掛けずに取り外すとスタンドが外れ転倒する恐れがあります。

# トラクタの取付け・取外し

## 5. P.T.Oジョイントの取扱い

1. ジョイントの取付けは確実に行ってください。  
ジョイントの取付けが不完全な場合、ジョイントが外れ、接合部を破損させる恐れがあります。
2. ジョイントの接合部を地面に落とすと接合部を破損させる恐れがあります。  
接合部は重たいですので十分注意して取り扱ってください。
3. 取付けるトラクタによりヘッドのシフト状況や、角度でジョイントカバーが擦れ、傷がつく恐れがあるので操作に注意してください。



ジョイントが確実に接続されていない場合、ジョイントが外れ、接合部が落下し、足をケガする恐れがありますので注意してください。



ジョイントが確実に接続されていない場合、ジョイントが地面に落下し、機械を破損させる恐れがありますので注意してください。

### 【MEMO】



# ご使用になる前に

## 1. 作動確認

- (1) トラクタの取付けが終わりましたら周囲の安全を確認して、トラクタのP.T.Oを低回転で回してください。
- (2) 異音、振動等がないかを確認してください。
- (3) 異常がなければ徐々に回転を上げ異音、振動等が出ないか確認しながらP.T.O回転540rpmまで上げて行きます。
- (4) 次にエンジン回転を下げ、油圧を操作します。  
この時、ジョイントがドローバーにぶつからないか油圧ホースが引っ張られたりしないか確認します。
- (5) 確認が終わったらエンジン回転を1000rpm以下にしてP.T.Oを止めます。
- (6) 異常が認められた時は、ただちにP.T.O及びエンジンを止め点検してください。



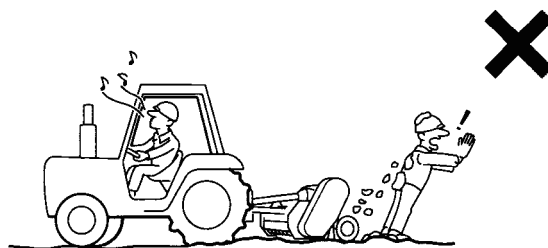
作動させる時は、周囲(特に前・後方)50m以内に人がいないことを確認して行ってください。石、砂等が飛ぶことがあります危険です。



振動が大きな状態で使用すると、機械を破損します。刃の脱落や折れなどがある場合は新しい刃を取り付けて使用してください。



トラクタによってヒッチとジョイントがぶつかるものがあります。  
その場合はスライドシリンダを少し戻してぶつからない位置で作業を行ってください。



070-0013-2006



- ◆ P.T.OのON・OFFはエンジン回転1000rpm以下で行ってください。高回転で行うと機械を破損します。
- ◆ P.T.O回転を540rpm以上にしないでください。破損の恐れがあります。

## 2. トラクタのバランス

45～65kW(60～90PS)のトラクタでも種類によってはフロントウェイトが必要な場合があります。

本機を取付け走行した時、ハンドルがフワフワしたり方向転換がしづらい時は、必ずフロントウェイトをつけてください。

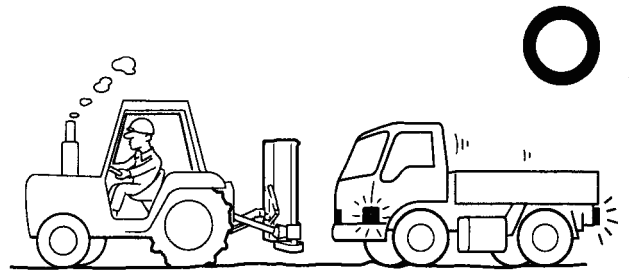


不安定な状態での使用は、転倒事故等の原因となりますので止めてください。

# ご使用になる前に

## 3. 走行について

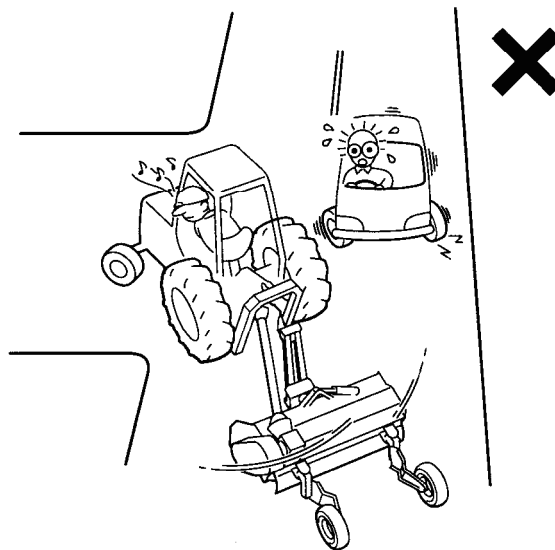
走行や回送時は本機をトラクタに近づけて垂直に格納し、事故を未然に防ぐよう、昼夜をとわず後続に伴走車をつけてください。



070-0013-2007



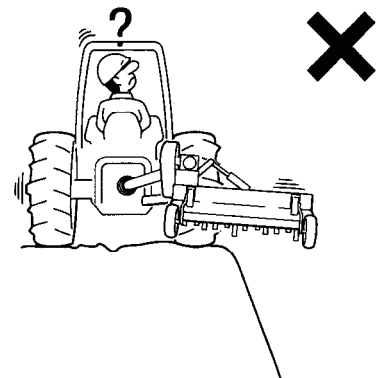
- ◆ 格納せずに走行すると、旋回時本機がふくらみ対向車線にはみ出す事がありますので注意してください。
- ◆ 凹凸路面、軟弱地、傾斜地、取付道路の乗り越え、路肩などの走行は細心の注意を払ってください。注意を怠ると、トラクタの転倒などの重大事故につながる恐れがあります。



070-0013-2008

## 4. 路肩、畦端の作業について

路肩・畦端での作業時は端に寄りすぎないようにしてください。



070-0013-2024



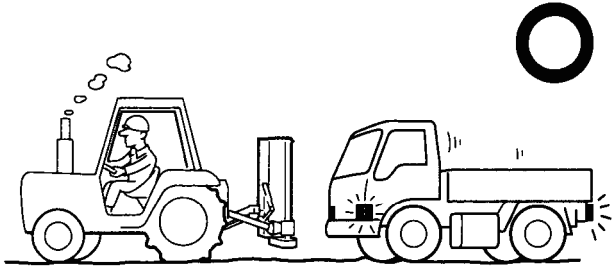
路肩・畦端での作業時は端に寄りすぎて走行すると転倒、転落の恐れがあるので注意してください。

# 操作心得



道路等を走行する時は昼夜をとわず必ず  
伴走車を付けてください。

後続車の追突を未然に防ぎます。

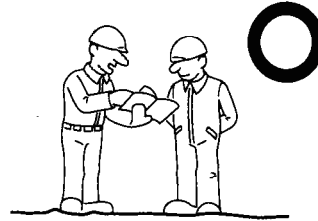


070-0013-2007



操作に未熟な人や、他人に貸し出す時は、  
使い方を説明し、取扱説明書を読むよう  
に指導してください。

不適切な人の運転は事故につながります。

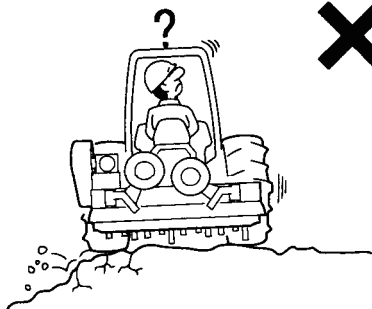


070-0013-2009



軟弱地盤や路肩、障害物はなるべく避け、  
また急激な油圧操作はやめましょう。

バランスをくずし、トラクタの転倒事故の  
原因につながります。

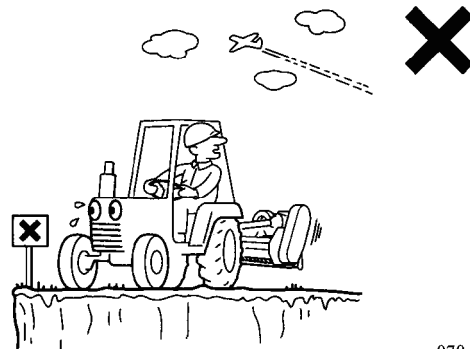


070-0013-2010



わき見運転や、ながら運転はやめましょ  
う。

思わぬ事故をまねきます。

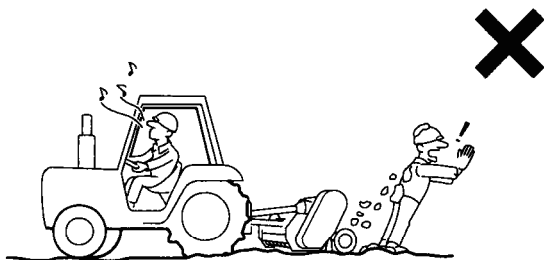


070-0013-2011



回転させる時や作業中は前・後方 50m 以  
内に人がいないことを確認してください。

石、砂等が飛ぶことがあり大変危険です。



070-0013-2012



障害物はなるべくさけましょう。

機械の破損やトラクタの転倒事故の原因に  
なります。



070-0013-2013

# 各部の調整と操作

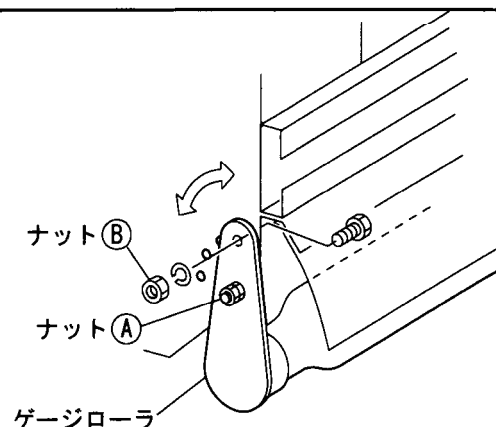
## 1. 刈り高さの調整

好みの刈り高さにするため下記の調整を行います

### ゲージローラ

- (1) ナット①を緩めます。
- (2) ナット②を外し、ゲージローラの高さを調整する穴へボルトを入れ替えます。
- (3) ナット①②をしっかり締めます。

〈図3-1〉



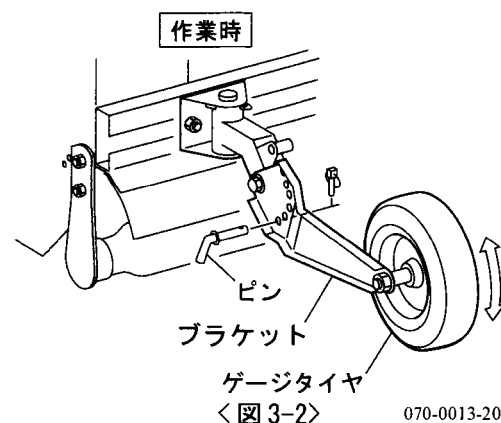
〈図3-1〉

070-0013-2035

### ゲージタイヤ (オプション)

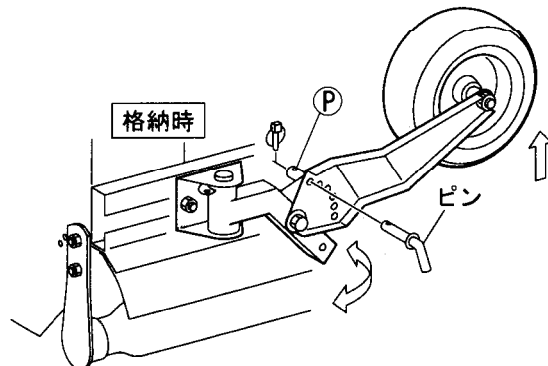
- (1) 圃場に入り本機を下げます。
  - (2) 本機が水平で作業できる様ピンを差し替えてタイヤの上下を調整してください。
- 〈図3-2〉
- (3) 数m位作業し刈り高さを確認してください。
  - (4) 刈り高さが決まりましたらトラクタのロアリンク調整レバーを下げ側で一定の位置に止まる様にして下さい。

※ゲージタイヤを使わない時はブラケットの穴が①の位置に来るまで持ち上げてピンを入れてください。〈図3-3〉



〈図3-2〉

070-0013-2025



〈図3-3〉

070-0013-2026



- ◆調整中は、P.T.Oを切りエンジンを止め駐車ブレーキをかけてください。回転中の調整は危険です。
- ◆周囲 (特に後方) に人がいない事を必ず確認してから作業してください。石、砂等が飛ぶことがあります。大変危険です。



作業時のP.T.O回転は540rpm以下にしてください。回転を上げすぎると破損する恐れがあります。

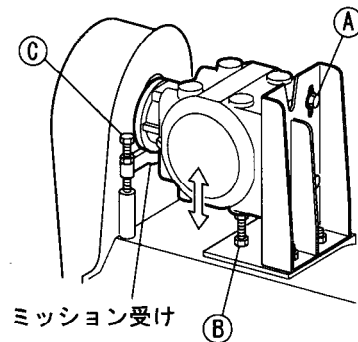
# 各部の調整と操作

## 2. Vベルトの調整

Vベルトが伸びてくると動力の伝達が悪くなりスリップの原因となります。

点検は毎日行ってください。

- (1) ボルト①を緩めてください。
- (2) ボルト②を伸ばしてミッションを上へ上げてください。
- (3) ミッションが水平になるようにボルト③を伸ばしミッション受けを上げてください。
- (4) Vベルトを張り終わりましたら、ボルト①を締めてしっかり固定してください。
- (5) Vベルトの交換は、P.T.Oジョイントを取外し手で回して行ってください。



<図4>

070-0013-2036

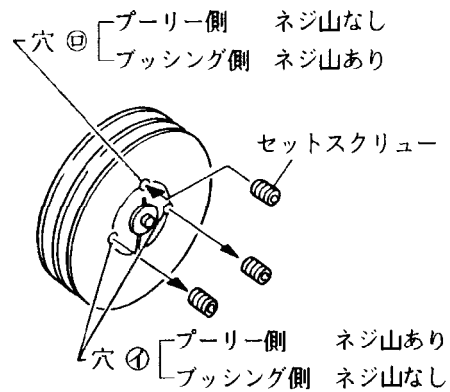


調整中はP.T.Oを切りエンジンを止め駐車ブレーキをかけてください。

## 3. Vプーリーの取外し

本機のVプーリーは、通常の取付けとは異なるイソメックブッシングを採用しております。

- (1) 穴④のセットスクリューを取外します。
  - (2) スクリューの先端に油をつけ穴④にねじ込みます。スクリューがジャッキの役目をし、プーリーとブッシングが簡単に外れます。
- ・ブッシングが外れにくい時は、スリット(切りかき)にドライバーをさし込んで少し広げてやるとはずし易くなります。
  - ・取付けは、この逆に行ないますが、穴④のセットスクリューは、交互に少しずつ、一様に締めつけます。



<図5>

SA000171



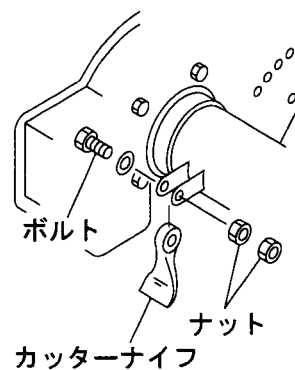
- ◆不均一な締めつけは、振れや、外れの原因になります。
- ◆取付ける時は、ブッシング、プーリー共ゴミをきれいにふいてください。ゴミが付着していると取付け不良の原因になります。

## 各部の調整と操作

### 4. カッターナイフの交換

カッターナイフが摩耗して交換する場合は、全部取り替えてください。

また、脱落したり、割れたりして、そのみ交換する場合はサンダーでけずり、他のナイフと同じ重量にしてください。



<図6>

070-0013-2027



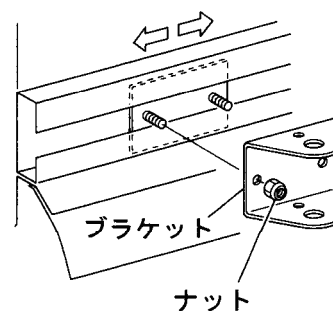
◆一部だけ取り替えたり、重量バランスを取らないと振動が大きくなり、機械の破損につながります。

◆カッターナイフの交換のときはボルトを締めたか必ず確認してください。

### 5. タイヤ幅の調整(オプション)

(通常、出荷時は2尺4寸に合わせています。)

タイヤ幅を変える時は左右のブラケットの取り付けナットを2個を緩め、所定の位置にブラケットを移動させてナットを締めてください。〈図7〉



<図7>

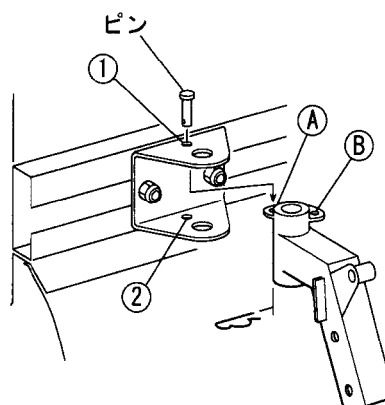
070-0013-2028

# 各部の調整と操作

## 6. タイヤ固定の操作(オプション)

### タイヤを固定する場合

- (1) 作業時  
①の穴と④の穴を合せてピンを入れロックして下さい。
- (2) 格納時  
①の穴と③の穴を合せてピンを入れてロックして下さい。

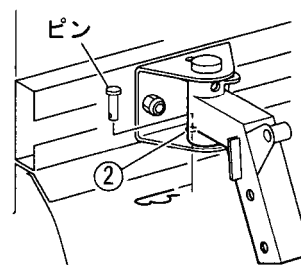


<図 8-1>

070-0013-2029

### タイヤをフリーにする場合

ピンを②の穴に入れて下さい。



<図 8-2>

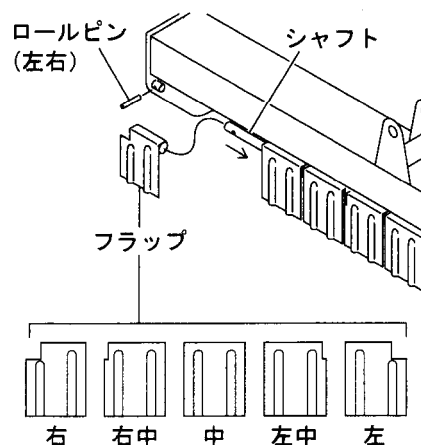
070-0013-2030



- ◆作業中はトラクタが動かないようにサイドブレーキ、輪止め等で固定してください。
- ◆ロアリンクが下がらないようにロックしてください。

## 7. フロントフラップの交換

- (1) フラップを取付けているピンを外してください。
- (2) シャフトを抜き、破損したフラップを抜き新しいフラップを交換してください。
- (3) シャフトを入れてピンをつけてください。



<図 9>

070-0013-2037

## 保守管理

機械の寿命を長く保つためには日頃の保守管理が大切です。

次の事項を良く読んでこの機械と長いお付き合いをしてください。

### 1. 日常の保管

- ・作業終了後は各部に付着した、土や茎葉を取除き掃除してください。
- ・屋外に置く場合は覆いを掛けてください。

### 2. グリスの補給

- ・ピローブロックへの給油は、1シーズン1～2回。
- ・タイヤへの給油は週に1～2回、その他の所では、10日に1回程度。
- ・軸受部などは、1シーズン1～2回。
- ・ステッカー表示のあるところは、その指示に従ってください。

### 3. オイルの交換

- ・ミッションのギヤオイルは90#相当約1.2ℓです。
- ・最初の1年目で交換以後、2シーズンに1回交換してください。

### 4. 長期保管

- ・本機全体を洗い、土・茎葉を取除いてください。
- ・給油部のグリスアップ、オイル交換は忘れずに。
- ・部品が消耗していたり痛んでいたら、時期シーズンに備え交換、整備しておきましょう。
- ・格納は湿気の少ない風通しの良い所にしてください。

## 仕様・諸元表

名	称	オフセットフレールモーア
型	式	F S S M C - 1 6 0
装	着 方 法	直装式
大 き さ	全 長 (mm)	1,840
	全 幅 (mm)	1,760
	全 高 (mm)	1,065
	重 量 (kg)	445
機 構	作 業 幅 (mm)	1,600
	タイヤサイズ	5.00-8 4PR
性 能	ローター回転数 (rpm)	2,480* <sup>1</sup>
	適応トラクタ (kw)	45～65kW (60～90PS)
	処 理 能 力	40～90 a / 1時間* <sup>2</sup>

※1 P.T.O回転540rpm時

※2 圃場条件等により変わる事があります。

◎本仕様は改良の為予告なく変更する場合があります。

## 結 び

本機を長期間、安全、有効に使用いただき、少しでもお役に立つために、この取扱説明書を作成致しましたが、まだまだ説明不足の点が多くあると思われます。

本書にて理解出来ない事につきましては、御遠慮なく当社へ連絡ください。

専門技術員が説明申し上げます。



# 部 品 表

## 部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

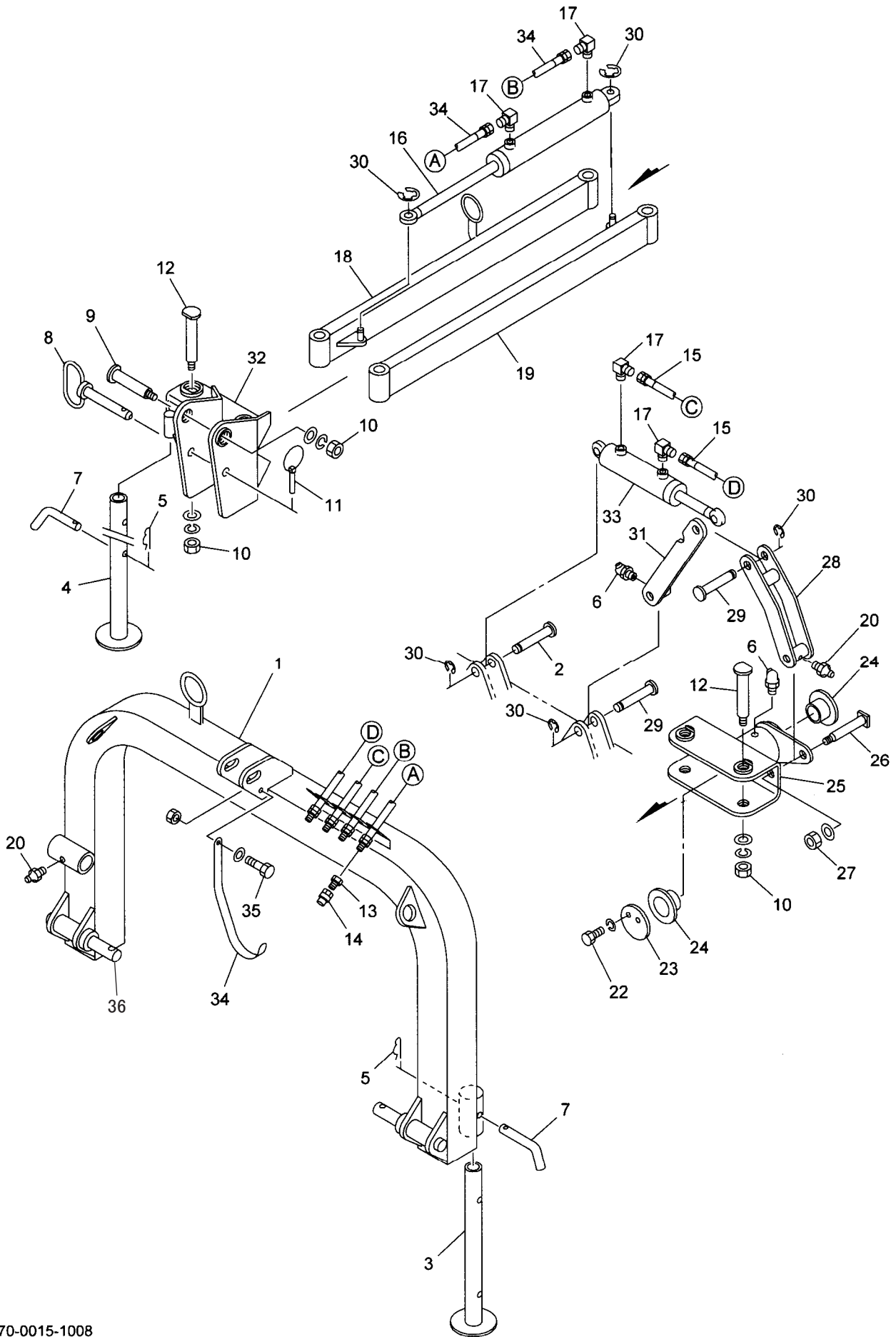
- ①製 品 名
- ②型 式
- ③部品名称 (部品表を参照してください)
- ④部品番号 (           "           )
- ⑤個 数 (           "           )

## 補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品について納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合は農機および価格についてご相談させていただきます。

# 1. ヒッチ・アーム部

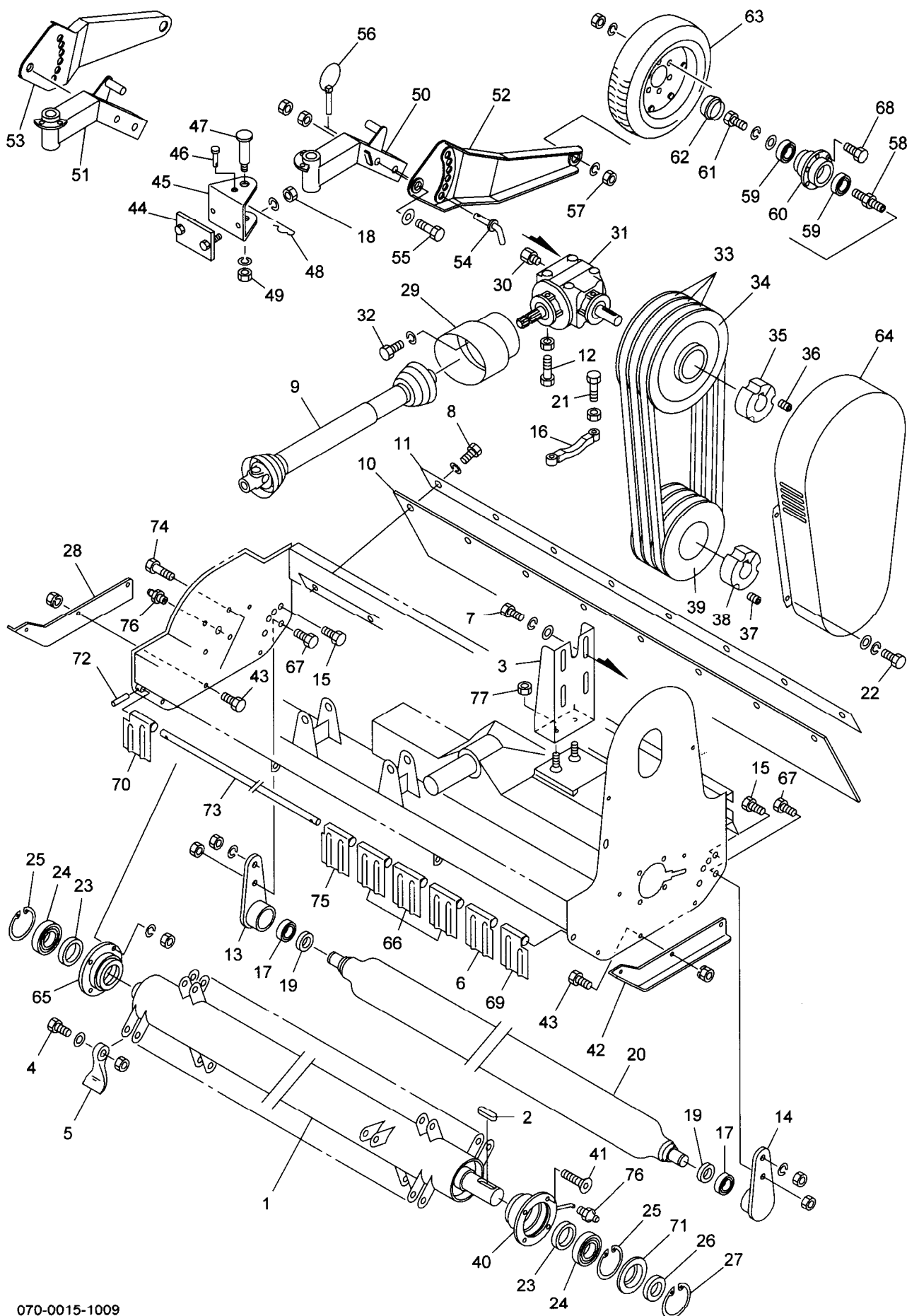


070-0015-1008

# 1. ヒッチ・アーム部

番号	部 品 名	規 格	摘 要	図 面	個数	備 考
1	ヒッチ			H035	1	
2	シリンダピン	$\phi 32 \times 104$		J84701	1	
3	スタンド(左)			H77202	1	
4	スタンド(右)			H77201	1	
5	松葉ピン	$\phi 4$			2	
6	グリスニップル	M6B			2	
7	スタンドピン	$\phi 12 \times 160$		J835	2	
8	ロックピン	$\phi 20 \times 156$		J863	1	
9	アームブラケットピン	$\phi 35 \times 169$		J852	1	
10	ナット	M24	SW,W.付		5	
11	リンチピン	$\phi 10$			1	
12	アームピン	$\phi 30 \times 173$		J850	4	
13	ブッシング	1/4 $\times$ 1/2			4	
14	カブラ	1/2			4	
15	ゴムホース	1/4 $\times$ 3500	I-4		2	
16	シリンダー	$\phi 25 \times \phi 45 \times 270$			1	
17	アダプタ	1033-1/4			4	
18	アーム(右)			T251	1	
19	アーム(左)			T252	1	
20	グリスニップル	M6A			2	
21	ゴムホース	1/4 $\times$ 2450	I-4		2	
22	ボルト	M16 $\times$ 40	SW 付		2	
23	フタ			B270	1	
24	ドライベアリング	MB7550DU			2	
25	アームブラケット			T254	1	
26	シリンダーアームピン	$\phi 22 \times 128$		J849	1	
27	ナイロンナット	M16	W 付		1	
28	回転アーム			B268	1	
29	シリンダピン	$\phi 22 \times 83$		J847	2	
30	Eリング	E-19			5	
31	シリンダーステー			B269	1	
32	アームブラケット前			T253	1	
33	シリンダー	$\phi 25 \times \phi 55 \times 200$			1	
34	ジョイント受け			B389	1	
35	ボルト	M10 $\times$ 30	W 付		1	
36	ロフリンクピン	$\phi 50 \times 238$		J851	2	FSSMC160・180

## 2. ロータ・ゲージ部

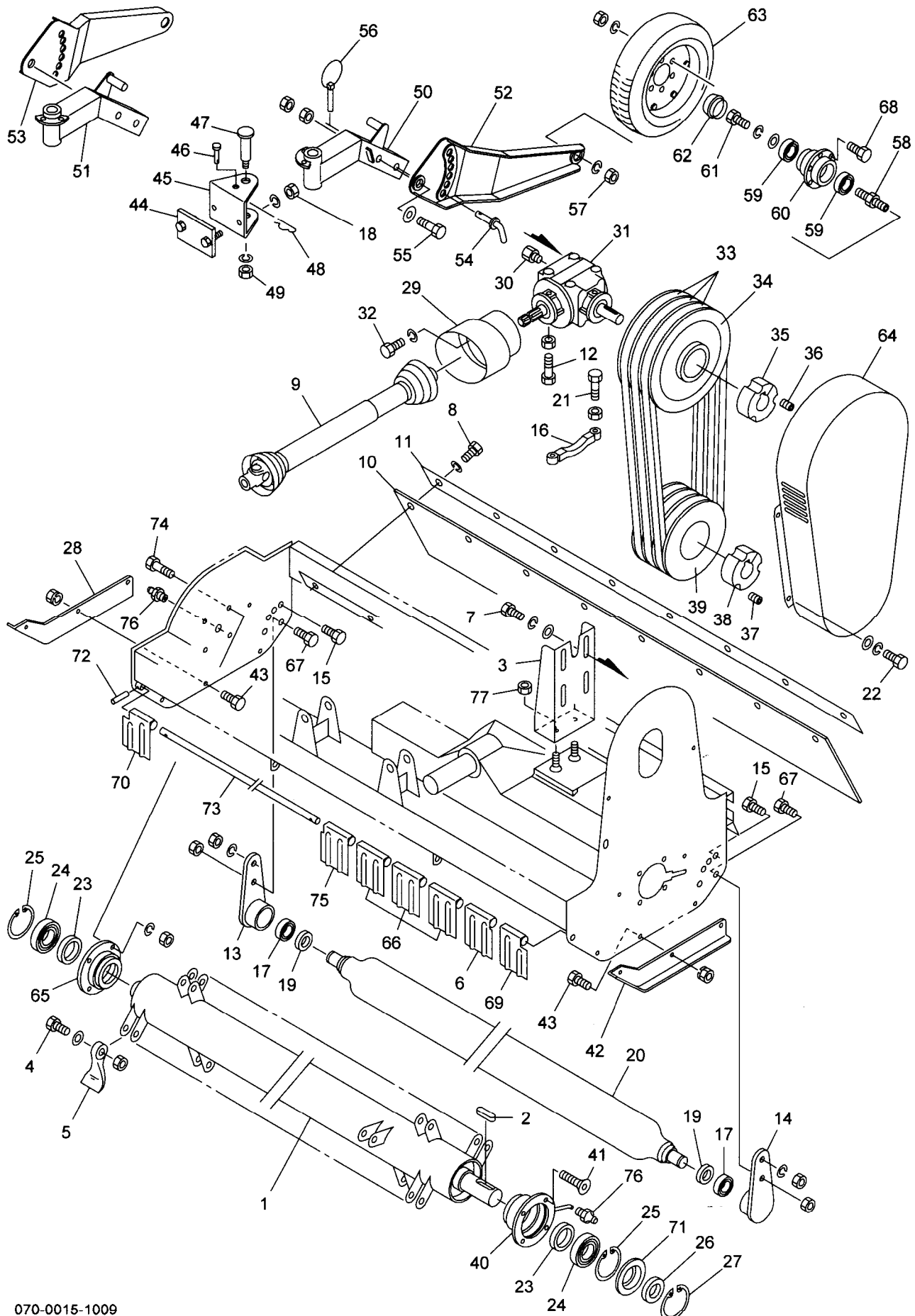


070-0015-1009

## 2. ロータ・ゲージ部

番号	部 品 名	規 格	摘 要	図 面	個数	備 考
1	チョッパー軸			J324	1	
2	キー	10 × 8 × 50			1	
3	ミッションブラケット			B40601	1	
4	HTボルト	M16 × 70 P1.5	N,N付		24	
5	カッターナイフ				24	
6	ガード左中			B32705	1	
7	8Tボルト	M12 × 25	SW,W付		4	
8	ボルト	M6 × 15	SW付		8	
9	ユニバーサルジョイント	W57166GGC10C10			1	BENZI
10	ゴム板	2P × 200 × 1640		R262	1	
11	ゴム座金			B319	1	
12	8Tボルト	M16 × 110	N付		2	
13	ゲージローラーフレーム(右)			H78102	1	
14	ゲージローラーフレーム(左)			H78101	1	
15	ボルト	M16 × 40	SW,N付		2	
16	ミッション受け			B40602	1	
17	ボールベアリング	6206			2	
18	ナット	M16	SW付		4	
19	オイルシール	40628			2	
20	ゲージローラー			J331	1	全ネジ
21	ボルト	M12 × 120	N付		2	
22	ボルト	M8 × 15	SW,W付		4	
23	オイルシール	456812			2	
24	ボールベアリング	1208			2	
25	スナップリング	H-80			2	
26	オイルシール	405610			1	
27	スナップリング	H-85			1	
28	ガード(右)			B32102	1	
29	入力軸カバー			N08702	1	
30	エアブリーザー				1	
31	ミッション			RS241627	1	
32	ボルト	M8 × 15	SW付		2	
33	Vベルト	5VX-591			3	
34	Vプーリー	SPB-265			1	
35	ブッシング	3020-33			1	
36	ホーローセット	5/8W 11 × 32			1	
37	ホーローセット	1/2W 12 × 25			1	
38	ブッシング	2517-40			1	
39	Vプーリー	SPB-170-3			1	
40	軸受け左			B40501	1	
41	六角穴付皿ボルト	M12 × 25	SW付		4	
42	ガード(左)			B32101	1	
43	ボルト	M10 × 25	SN付		6	
44	タイヤフレーム取付前			H78004	2	オプション
45	タイヤフレーム取付後			H78003	2	オプション
46	タイヤ固定ピン	φ 20 × 47		J843	2	オプション
47	タイヤフレームピン	φ 35 × 161		J861	2	オプション
48	松葉ピン	φ 4			2	オプション
49	ナット	M20	SW付		2	オプション
50	タイヤフレーム(左)			H7800102	1	オプション
51	タイヤフレーム(右)			H7800101	1	オプション
52	タイヤブラケット(左)			H7800202	1	オプション
53	タイヤブラケット(右)			H7800201	1	オプション
54	タイヤブラケットピン	φ 16		J864	2	オプション
55	ボルト	M16 × 95	W,N,N付		2	オプション
56	リンチピン	φ 4			2	オプション
57	ナット	M24	SW付		2	オプション
58	タイヤハブピン	6角鋼 32 × 158		J745	2	オプション
59	ボールベアリング	6205Z			4	オプション
60	ハブ			E004	2	オプション

## 2. ロータ・ゲージ部



070-0015-1009

## 2. ロータ・ゲージ部

番号	部 品 名	規 格	摘 要	図 面	個数	備 考
61	ボルト	M10 × 20	SW,EP付		2	オプション
62	キャップ				2	オプション
63	タイヤ	5.00-8	4PLY		2	オプション
64	プーリーカバー			K474	1	
65	軸受け右			B40502	1	
66	ガード			B32704	12	
67	ボルト	M16 × 40	NN付		2	
68	ボルト	M12 × 35	N,SW付		12	オプション
69	ガード			B32707	1	
70	ガード			B32708	1	
71	オイルシールケース			B30503	1	
72	ロールピン	5 × 25			2	
73	ガード軸				1	
74	8Tボルト	M12 × 20	SW付		4	
75	ガード右中			B32706	1	
76	グリスニップル	8-1.25	直		2	
77	ナイロンナット	M16			2	

本 社	066-8555	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066-8555	千歳市上長都1061番地2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070-8004	旭川市神楽4条9丁目3番35号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富営業所	098-4100	天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地44 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-2462	帯広市西22条北1丁目12番地4 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
中標津営業所	086-1152	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 0153-72-2624 FAX 0153-73-2540
花巻営業所	028-3172	岩手県花巻市石鳥谷町北寺林第11地割120番3 TEL 0198-46-1311 FAX 0198-45-5999
仙台営業所	983-0013	宮城県仙台市宮城野区中野字神明179-1 TEL 022-388-8673 FAX 022-388-8735
小山営業所	323-0158	栃木県小山市梁2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-0102	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
岡山営業所	700-0973	岡山県岡山市下中野704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	861-8039	熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885-1202	宮崎県都城市高城町穂満坊1003-2 TEL 0986-53-2222 FAX 0986-53-2233